

## 心豊かで かしこく たくましい 生徒の育成

平成31年度校長 松田 昌樹

本校は、甲府市立北中学校の大規模化解消に伴い昭和55年4月7日に7番目の市立中学校として開校し、本年度で創立40周年を迎えます。敷地の西側には、国の特別名勝である昇仙峡を上流にもつ荒川が流れ、北西には八ヶ岳、南には雄大な富士山を望み、校地内にも樺や白樺などの多くの樹木が植えられ、緑豊かな自然環境に恵まれています。正門を入ると、初代校長 伊藤基 先生の言葉「人生は心で歩む道である」と刻まれた石碑があり、創立以来一貫して「豊かな心の育成」を中核とした知・徳・体のバランスのとれた生徒の育成に取り組んでまいりました。

生徒たちは、本校の良き伝統として「挨拶・清掃・合唱」の3つを大切にしており、4部合唱で誇りをもって歌う校歌を始め、全校生徒が無言で膝をついて雑巾がけをする毎日の清掃、登下校時や来校者への明るい挨拶など、中学生らしいさわやかさと落ち着いた雰囲気の中、学習や部活動に前向きに取り組んでいます。また、本年度は「北西維新」を生徒会スローガンに、これまでの伝統を大切にしながら、新たな活動も取り入れ、生徒全員でより良い学校づくりへの取り組みを開始したところです。

平成31年度は、学校教育目標「心豊かで かしこく たくましい 生徒の育成」の具現化に向け、学習指導の工夫・改善による学び合う学習集団の育成や、愛情と信頼に基づく生徒指導の推進による思い遣る心の育成等7つの基本方針を定め、一人一人の善さや可能性を伸ばす学校づくりを進めております。また、校内研究におきましては、研究主題を「学びの自立を目指して」とし、深い学びにつながる対話を重視した授業の実践を進めるとともに、新たに位置づけられた「特別の教科 道徳」の授業におけるOPPAシートの活用や、QU調査を利用した集団づくりなどに取り組んでおります。本年度は、すべての生徒の確実な成長をねらい、認め合い・学び合い・高め合う前向きなトーンをもった集団づくりを大切にすることや、生徒一人一人の我慢する力や頑張る力などの非認知能力を育むことを職員全員で確認し、これまで以上に熱意と創意あふれる教育活動を展開してまいります。

保護者・地域の皆様、そして教育支援ボランティアをはじめとする皆様には、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございます。恵まれた素晴らしい教育環境の中で、本年度も教職員一同全力で「全ての子どもたちの成長に責任を持つ学校づくり」を推進してまいりますので、今後ともさらなるご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。